

ジョリパットアルファ  
JP - 100シリーズ  
校倉仕上げ  
施工の手引き

【初版】平成22年4月

アイカ工業株式会社  
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー (モルタル下地の場合)	シヨリパットシーラー JS-500	水性タイプ アクリル系 1液型透明シーラー	18kg石油缶	135 ~ 180 m <sup>2</sup> / 缶 (水希釈 50%の場合)
主 材	シヨリパットアルファ JP-100 シリーズ 標準色 JP-100T ( ...数字 ) 特注色 JP-100 ( ...英字、 ...数字 )	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg <sup>レ</sup> 缶	約 7 m <sup>2</sup> / 缶
骨 材	JF - 5 JF - 3	寒水石 (白竜) 5 厘 寒水石 (白竜) 3 厘	( 20kg袋入 ( 20kg袋入	約 2.5 m <sup>2</sup> 約 2.5 m <sup>2</sup>

< 主な施工道具 >

- ・ 金ゴテ
- ・ 校倉専用クシ目ゴテ ( JR - 71 )

< 下地調整 >

下地は、モルタル金ゴテ押さえ (平滑) として下さい。

< 校倉仕上げ施工方法 >

1. シーラー塗布

配 合	JS - 500	18kg
	清 水	9 ~ 18%
塗布量	0.15 ~ 0.2 kg / m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地に最適なシーラーを選定して下さい。  
3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

・ジョリパットを無希釈で0.9kg / m<sup>2</sup>となるよう  
金ゴテにて平滑に塗布する。

夏期 4時間以上  
冬期 12時間以上  
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

配 合	JP - 100シリーズ	20kg
	寒水石 5厘	8kg
	寒水石 3厘	8kg
	清 水	1.5 ~ 2%
塗布量	約3.5 kg / m <sup>2</sup>	
施工道具	金ゴテ 金ゴテにて平滑になるよう材料を配る。 (厚さ3mm程度)	

**追いかけ**

パターン付け

・校倉専用クシ目コテJR - 71を横方向に引っぱり、  
櫛引き模様のジョイント部分がランダム(図 - 1)に  
なるようパターンを付ける。

### <施工のポイント>

- ・最初に目安となる線を横方向に引く。この線を基準線として、細かいパターン付けを行う。
- ・次にクシ目のジョイント部分が目立たないように、千鳥状に模様を付ける。細かくパターン付けを行うと、パターンつながが目立ちにくくなり、バランスのとれた仕上がりになる。(図-1)
- ・クシ目ゴテは、パターン付けを行う進行方向に対して、45度程度傾けてパターン付けを行う。
- ・校倉クシ目ゴテは、常にきれいに保つよう、ウエスなどで余分な材料を除去する。クシ目ゴテに材料が付着したまま、パターン付けを続けると、パターンが汚くなる。

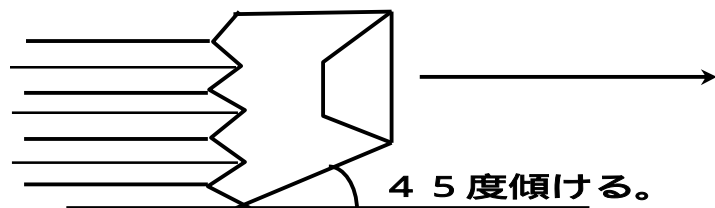
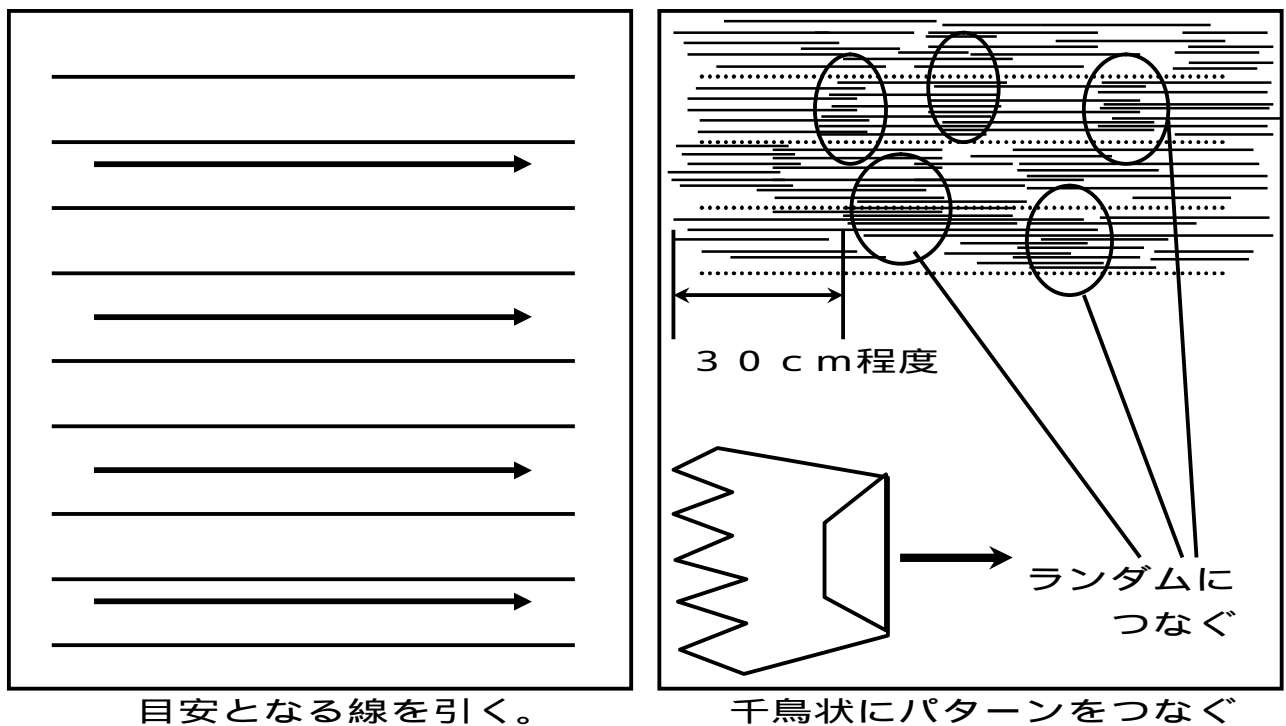
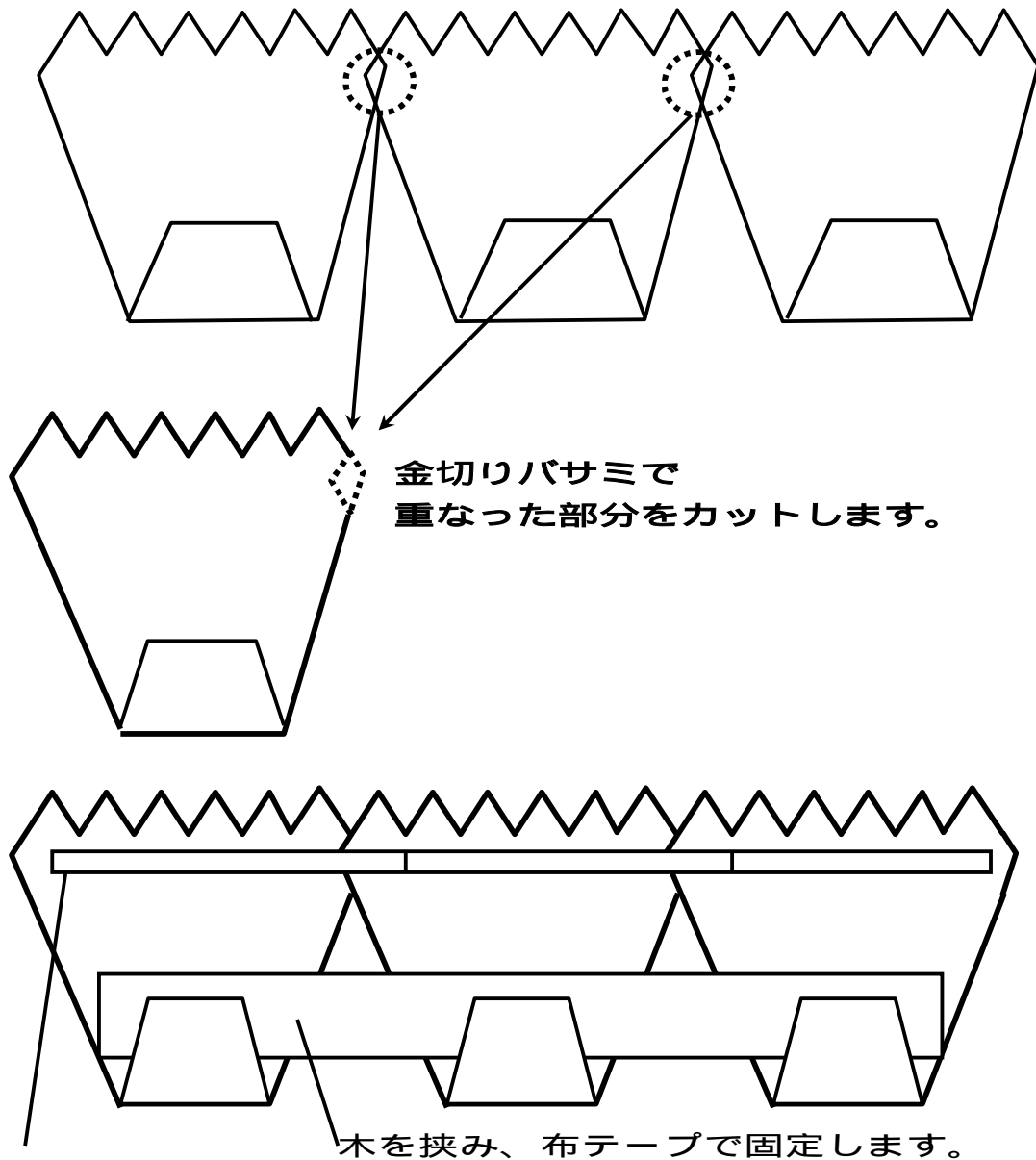


図 - 1

- ・大壁を仕上げる際、作業性をアップする為、大きいクシ目ゴテを作製すると便利です。(図-2、3)

<大型クシ目ゴテの作製方法>

- ・校倉専用クシ目ゴテJR-71(5枚/箱)を2~3枚つなげて、布テープと木で固定します。(図-2)  
残ったクシ目ゴテは、細かい部分の施工に使用して下さい。

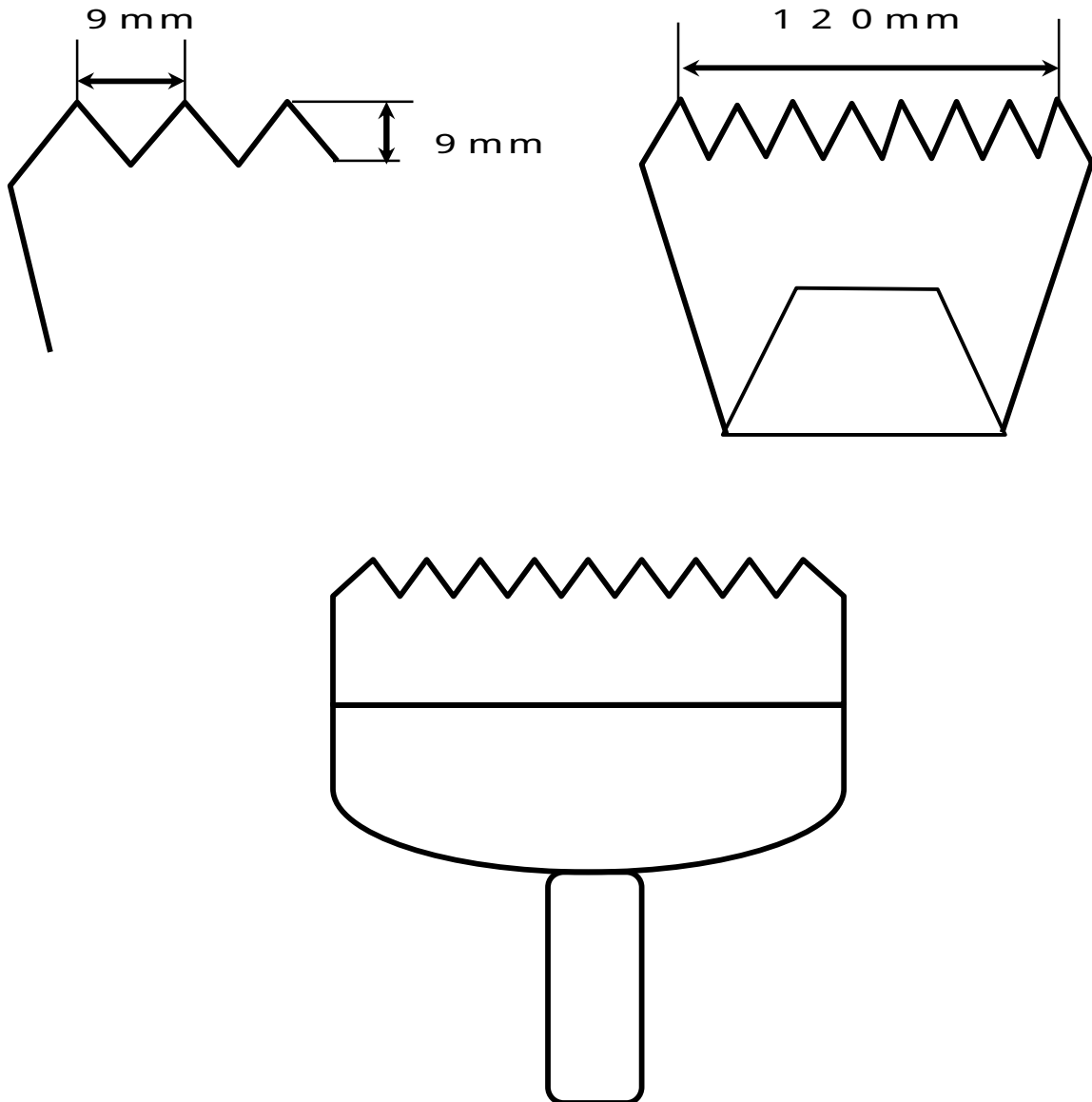


割り箸又は木をあてがい、布テープで固定します。  
(くしがパターン付けの際、ゆがまないようにする為)

図-2

- ・市販のパテベラ（金ベラ）を金切りばさみでカットしても大型クシ目ゴテは作製できます。（図 - 3）

< 校倉専用クシ目ゴテ J R - 7 1 の形状 >



- ・校倉専用クシ目ゴテのピッチに合わせて、金切りバサミでカットします。

図 - 3

## < 施工の注意事項 >

- ・ 施工前に必ず試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 配り塗り後、速やかにパターン付けを行って下さい。表面が乾燥してしまうとパターン付けが出来なくなります。
- ・ 表面乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意してください。(大面積では作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ 同一面は連続して施工して下さい。(気温・湿度・風等により、色調が異なることがあります。)
- ・ パターンを付ける際、ラインが蛇行したり斜めに下がったりしないよう注意して下さい。
- ・ 材料の塊(クズ)が壁面に残らないよう、クシ目ゴテに付着した材料は、コテ板やウエスなどでかき取り、きれいにして下さい。
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。
- ・ シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・ シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・ 施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への施流は避けてください。

校倉のパターンを真っ直ぐ、きれいにつなぐことは、気象条件、足場、施工人工、施工技術などの関係で困難です。詳しくは、各営業店所に御相談下さい。

以 上